

サンガムに行く

あなたがサンガムワールドセンターにお越しになることがとてもうれしいです。インドを訪れる機会を得られ、インドの文化に触れ、プネーの街の喧噪に出会い、学び、成長し、日々を楽しめますように。このすべての経験は興奮し、感動し、混乱し、素晴らしく、疲れ、色々なことを感じ取るかもしれません。その他にも、色々なことが・・・すべて同時に！

サンガムワールドセンターでは、世界連盟のビジョンとミッションを全ての来訪者の方、地域 NGO 貢献プログラム参加者（“ターレ”）とボランティアにお伝えします。全員がコミュニティパートナー（地域 NGO）を訪ねるか、地域貢献のアクションプロジェクトの何かを体験する機会があります。

スカウト活動では、私たちははぐくむ友情を大切にします。サンガムでは、あなたを含めたすべてのサンガムファミリー：国際スタッフ、地元スタッフ、ゲスト、ボランティア、滞在者、イベント参加者、サンガムの友人と近隣の在住者と、友情を広げることができます。

サンガムという言葉はサンスクリット語で「一緒になる」という意味です。1966年にサンガムが始まって以来、サンガムは来訪するガールスカウトとガールガイドにとって安全で中立な場所であり続け、皆が一緒になって彼らの経験、文化とそれぞれの国の伝統と組織を共有する場所であり続けています。





サンガムファミリーについて

WAGGGS Staff 世界連盟スタッフ

サンガムには3人の正規職員がいます。ワールドセンターマネジャー（WCM）、副センターマネジャー（運営）（DWCM：O）、副センターマネジャー（プログラム）（DWCM：P）です。それから、通常2年契約の2名のコーディネイターがいます。プログラムコーディネーター（PC）とゲストサービスコーディネーター（GSC）です。

Local Staff 地元スタッフ

サンガムには世界連盟スタッフをサポートする地元スタッフがいます。コミュニティリレーションマネジャー（地域NGO等との連絡を行う）（CRM）、オフィスアシスタント（OA）、ゲストサービスアシスタント（GSA）、ハウス・キッチンアシスタント（HKA）、メンテナンスアシスタント（MA）とレセプション（受付）（R）です。その他、ハウスキーピングと料理、施設メンテナンスの素晴らしいスタッフがいます。

サンガムインターン

サンガムインターンはサンガムの全エリアにてサンガムを支援し、主体的に必要な仕事をします。6月から3月までのサンガムのイベントシーズンのうち、5か月間限定での仕事です。

サンガムボランティア

サンガムボランティア（SVs）はサンガム成功のためになくなくてはならないものです。SVsは6月から3月までのサンガムのイベントシーズンのうち3~5か月間働きます。彼らはイベント準備と、イベント実行を担っています。

アーマイティ・ダストゥール記念 トレーニングプログラム・ボランティア

教育と発展途上にあるボランティアが、サンガムの地元ガールガイドグループである Nivedita 団より採用されています。元サンガム委員の故アーマイティ・ダストゥール氏の寛大な寄付により、トレーニング段階にあるボランティア達が、イベント実行を助け、インド文化を広げ、また毎日の作業を手伝っています。

ターレ

サンガムは3~12週間の地域NGOに参加するプログラムセッションを行っています。私たちは彼らのことを、ヒンディ語で「星」を意味する「ターレ Tare」と呼んでいます。ターレは1週間のうち4日をサンガムのパートナーコミュニティのところで過ごし、1日をヒンディ語レッスンや活動のまとめ、地域各所の視察、他の地域NGO訪問にあてます。

言語（コミュニケーション）

サンガムは世界中の人々を受け入れます。つまりこれは、多くの人々が英語を第二、第三、第四言語として話す可能性があるということです。スタッフ等に話しかけるときはゆっくり、はっきり話すようお願いしません。言っていることが分からないときは、ゆっくり話すか、もう一度話すようお願いしてください。

通貨

インドで使用されている通貨単位はインドルピーです。INR または特別な記号があります。

紙幣は 1000, 500, 100, 50, 20, 10 の種類があります。

コインは 10, 5, 2 と 1 ルピーです。

持ち物

滞在に必要な服の他、以下を持ってこられることを推奨します。

- ・水筒
- ・懐中電灯、替え電池
- ・虫よけ
- ・生理用品、化粧品、洗面用具、石鹸
- ・帽子、日焼け止めクリーム、サングラス
- ・カメラ、充電器、替え電池
- ・軽い靴…雨季の場合は、着脱が楽なゴム製の靴が重宝します
- ・レインコート、傘 もし 6 月から 9 月の間に来るなら

何を着たらよい？

サンガムの敷地内では、ショートパンツや袖なしの服を着ることは可能です。（ただし、ピタッとしないこと。襟ぐりが深いものや、透ける素材でないこと。）サンガムはプネーの中でも保守的な地域に存在します。サンガムを出て近隣地域に立ち入るときは、肩から膝までの間の全てが隠れるようにしてください。

時折とても暑くなりますので、綿製品や、涼しいもの、すぐ乾く素材は便利です。エアコンの効いたレストランや車両はとても寒いことがあるので、ジャケットか羽織るものがあった方がいいでしょう。

プネーの中でも、地域によっては女性がタイトなズボンや短いスカート、袖なしの服を着ていることはあります。服装は、あなたが行く場所、すること、誰と会うのかによって選択する必要があります。

しかし、サンガムとその近隣地域を通過して出ていくときは、必要に応じ、肩など出ているところがあれば隠してください。

アルコール

サンガムでは、アルコールを飲むことは法的に問題のない歳であれば許可されています。
到着時に、飲食に適した場所が紹介されます。
ただし、インド社会の多くの場所では、飲酒は受け入れがたいものとされています。
そのため、我々は持ち込み・消費の両面からアルコールの量を控えめにするをお願いしています。
また捨てる時はわからないようにしていただくをお願いいたします。

健康

年間を通して蚊が大量にいます。特に日没後や朝の蚊がよく出る時間帯は、虫よけや、虫に刺されない服装をすることを強くお勧めします。
虫刺されに特に弱い方は、ご自身の抗ヒスタミン剤やお薬を持ってきてください。ドミトリーやプライベート部屋で宿泊される方には、蚊帳が提供されます。サンガムにはファーストエイドの知識を持つスタッフがおり、信頼のおける医師ともコンタクトを取れます。
ここで病気にかかる、時にとても早く進行することがあるため、滞在中に気分が悪くなった場合は必ずすぐ、誰かに知らせてください。

多くの薬は、薬局で買うことができますが、常備薬は十分な量を持ってきてください。
お腹を下した時の薬や、便秘薬、風邪薬、生理痛の緩和剤、アレルギー薬等は、いつも使っている物があれば、持ってこられると楽で、便利です。

参加者には、適切な保険に入ってください責任があります。
旅行期間中の個人の持ち物、旅行でのトラブル、けが、医療にかかる費用、一般的な損害賠償と生命に関する保険に入ってください。
世界連盟としては、公的/一般的な損害賠償の保険に入っています。

インターネット

サンガムには無料で使える2つのゲスト用コンピュータがあります。また無料のWi-Fiがあります。インドのインフラは発展中のため、インターネットが途切れることが良くあります。